

# 那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成28年度第14回（定例会）

署名人 比嘉佳代

委員長 神村洋子

開催日時 平成28年11月24日（金）

開会 午前 9時55分

閉会 午前10時20分

開催場所 真和志庁舎4階会議室（教育相談課内）

出席委員 神村洋子委員長、饒波正博委員、比嘉佳代委員、本仲範男委員、渡慶次克彦教育長

## 議 事 日 程

- 1 報告1 平成29年度教育委員会組織及び定員について 【総務課】

## 出席職員

【生涯学習部】伊良皆宜俣部長、屋比久副部長

（総務課）山内健課長、佐久川敏明副参事、金城国夫主幹、伊禮道子主査

【学校教育部】黒木義成部長、森田浩次副部長

【企画財務部】

（企画調整課）天久啓子副参事、佐々木優佳主査

会議録作成（総務課）幸地英子主査

神村委員長 平成28年度第14回教育委員会会議(定例会)を開催いたします。本日の会議録署名は比嘉委員にお願いします。

報告1「平成29年度教育委員会組織及び定員について」の説明をお願いいたします。伊良皆部長、どうぞ。

伊良皆部長 報告1「平成29年度教育委員会組織及び定員について」、平成29年度教育委員会組織及び定員について別紙のとおり報告する。平成28年11月24日提出。教育長 渡慶次 克彦。報告理由 平成29年度における那覇市教育委員会の組織及び定員について別紙のとおり決定したので報告する。別紙以降につきましては、総務課のほうでご説明いたします。

神村委員長 はい、では、課長、お願いします。

山内課長 ページをめくっていただきたいと思います。よろしいでしょうか。平成29年度組織改正及び定員再配置の概要を説明いたします。「平成29年度教育委員会組織定数管理運営方針」に基づいて、平成29年度の組織改正及び定員再配置を行います。1、組織改正について、主に次の5つの事業に関して、事業執行体制の継続または新たな組織体制の強化をおこないます。1) 真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)建設事業のための組織体制を継続していきます。本事業は平成26年度から事業化しておりまして、平成26年度に施設の基本構想を策定し、平成27年度～28年度にかけて基本設計を完了しております。今後のスケジュールとしましては、今年度、平成28年度で実施設計、平成29年度で用地購入、平成30年度～31年度にかけて建設工事を行う予定でございます。

2) 平成31年度開催の全国高等学校総合体育大会、これは那覇市で空手道競技、なぎなた競技、水泳競技の飛び込み種目、水球種目の3競技4種目の開催が予定されております。それに向けて組織の強化を行っていきます。3) 那覇市健康ウォーキング推進事業につきましては、平成26年度から担当職員を配置しまして事業を実施しているところでございますけれども、実行委員会の充実、ウォーキング講座の実施等、公民館や他部署との連携体制の確立など事業運営を確立させていくため、現在の組織体制を継続していきます。4) 小・中一貫教育につきましては今年度から全市小中学校に導入しておりますけれども、全市導入後の検証及び今後の推進計画策定のため、現在の組織体制を継続していきます。5) 子どもの貧困対策事業等に対応する為に、学務課、教育相談課の組織を強化して参ります。2、定員再配置について、1) 定員数及び現員数 定員数は平成28年度の411人から平成29年度は400人へ11人減員とします。現員数は平成28年度416人から平成29年度は400人へ16人の減員となります。

※平成28年度の定員数と現員数の差5人は再任用フルタイム勤務+3人、過員配置+1人、図書館主事(司書)欠員が-1人、復職支援定数枠残(主事)-2人及び幼稚園教諭過員配置+4名となっております。2) 主な再配置 これにつ

きましては、次のページ以降、各課の定数の増減、各課ごとに示してありますが、これを確認しながら説明をしていきます。次のページをご覧ください。詳細については、担当の金城からご説明させていただきます。

神村委員長 はい、お願いします。

金城主幹 引き続きご説明いたします。2ページです。主な再配置ですが、変更があった部分と合わせてご説明いたします。それでは2ページの総務課、改正理由等の部分をご覧ください。※印です。人事・庶務グループの復職支援のためのリハビリ出勤等に対応するため、定数として主事2を配置するとしております。これは前年度3人から2人に1名減となっております。その次、平成29年度から導入される新人事評価制度等の業務に対応するため、人事・庶務グループの主査職1名を主幹職に変え対応する、としています。総務課に関しては1名減となっております。次、生涯学習課、2)をご覧ください。社会教育施設への指定管理者制度等の拡充業務等のため、時限配置等の主査1名は配置期限終了に伴い減員とするとしております。生涯学習課は1名減となっております。その次、3ページの2)をご覧ください。平成31年度に開催される高校総体準備のため、主査1名を平成31年9月までの時限配置とするとしております。3)奥武山野球場等整備事業の関連事務対応のための時限配置の主査1名は、配置期限終了に伴い減員するとしています。1減1増となっておりますので増減なしとなっております。その次4ページ、施設課 3)をご覧ください。学校施設の空調設備更新事業等の事業計画の策定や事業執行及び増大する教育施設整備事業(社会教育施設を含む)に対応するため、設備グループに技師【機械1】を配置する。(平成30年度まで時限配置)として、1増となっております。施設課は1名増です。それから5ページ、公民館・図書館は変更ございません。その次ですね。6ページ、学校教育課でございます。6ページの2)をお願いします。2)退職校長叙勲関係事務のための時限配置の主事1名は配置期限終了に伴い減員とする、となっております。3)小中一貫教育推進室3人は市内全小中学校導入後の検証及び今後の事業計画策定のため、平成29年度まで引き続き配置する、としています。それに関連して【申送り事項】を付けて、平成30年度以降の事務の整理については課内で検討することとして、小中一貫教育の時限配置終了後の事務整理について、この申送り事項で言及しております。学校教育課は1名減となっております。その次、7ページお願いします。次は学務課です。子どもの貧困対策に係る業務及び就学援助・特別支援教育就学奨励費に関する業務量の増加に対応するため、就学応援グループに平成30年度まで主事1名を配置する、としています。ただし、今後の業務量を勘案し再検討をするとし、平成30年度までの時限配置としております。学務課は1名増となっております。その次です。教育相談課、次の2つ目の真ん中のほうですね。子どもの貧困対策事業に対応するため、平成31年度まで主幹1

名を配置するとしています。現状では、加配1名となっているところを定数化して配置するということです。それから8ページの真ん中、学校給食センター。鏡原給食センター直営のため、平成30年度まで主査1名を配置するとしております。この鏡原中学校に小規模センターが新設されますので、それを直営とし、そこに主査を配置するものであります。給食センター1名増となっております。次です。9ページ、小学校及び中学校では、調理員1名減となっております。退職者不補充ですね。それから幼稚園、※をお願いします。認定こども園移行の5園、開南幼稚園・曙幼稚園・真地幼稚園・石嶺幼稚園・金城幼稚園の定員11名は市長事務部局に移管する、となっております。幼稚園は11名減となっております。大雑把でございますが、以上のとおりとなっております。

神村委員長 では、説明を終わりましたが、この件について、ご質問それからご意見がございましたらお願いいたします。はい、本仲委員、どうぞ。

本仲委員 3ページですね。スポーツ振興グループ、市民スポーツ課の中で、2)の部分ですが、これは準備室を設置するわけですか。

金城主幹 準備室ではなくて、職員の配置、担当が主査レベルの配置ということになります。

本仲委員 将来的にはいわゆる準備室あるいは事務局とか、それから何名位まで増やすところまで検討されているんですか。

金城主幹 そうですね。県のほうがですね。平成30年度から実行委員会を立ち上げるということで、それと兼ね合いながらまたどの位で出せばいいのか、室になるのか係、担当になるのかというのは、その辺はまた様子を見ながら検討していくということで今後の課題としております。

本仲委員 連携をしながら。

金城主幹 はい。

神村委員長 先程、課長に質問したのですが、施設は全部、県の施設になるんだそうです。ですから県の組織が立ち上がって初めて、また一緒に動く、という形かなと思いましたがけれども。はい、ほかに。はい、本仲委員、どうぞ。

本仲委員 9ページの認定こども園移行の5園ですけれども、この定員11名は市長事務部局に移管する、とあるんですよ。これは、今後こういうこともあり得るのかなと思っているのは、いわゆる幼稚園教諭免許持っていますよね、彼女たちは。しかし市長事務部局だから市長部局とのいわゆる人事交流は、考え方として今後あるのかどうか。今は幼稚園の先生であるのだが、いわゆる市長部局の一般事務にとかね。他市町村ではそういうことが一応事例としてあったものですから。本人達はこの辺は、ある意味では不安を感じていないかなというふうな感じがしているんですが。

神村委員長 よろしいでしょうか。はい、どうぞ。

佐久川副参事 今の件ですけれども、例えば今年、平成28年度にも、前年度から10名の幼

幼稚園教諭が今年度、認定こども園の実施に伴って減になりましたけれども、その内、6名は市長部局で、例えば保育士の資格のある方は保育所に配置換えをするとか、本人の希望も取りながらですね。残り4名に関しては、市長部局で保育所等にその資格を生かしたポジションがないという形になっておりまして、幼稚園の現場に加配、加員配置という形で、現状では定数は減なんですけれども、現員数を増やして配置しているということです。いずれ退職とか、あるいはそういった配置先が出た時に調整していくという形で、これが今、現員数の増となっております。一旦、市長部局にお渡しする形の定数減になるんですけれども、市長部局では配置できませんので、配置関係は幼稚園という形で、そうすると所管の身分は今までと同じように幼稚園教諭という扱いで所管は教育委員会になります。ただし、人数的には加員配置という取り扱いをします。

神村委員長　　このような現状は、現場にとっては教師が増えるということが出てきているので、現場にとってはまだ良いんですけれども。

佐久川副参事　　調整として、例えば加員配置していた所は、従来は非常勤職員とか、臨時とかという形で幼稚園教諭は居りましたけれども、その採用を無くして本務職員に変えるという手法を取ろうと思います。

本仲委員　　是非、こういう工夫をしてね。

佐久川副参事　　現状では、本仲委員がおっしゃっているように事務職員に変えるというのは、こどもみらい部のほうでそういう方向で検討していくという話はまだ聞いてはおりません。

神村委員長　　はい、どうぞ。ほかにありますか。一つだけよろしいですか。総務課のほうで人事・庶務グループのリハビリ出勤等に対応するための定数として主事2名を配置するとありますけれども、現状としてやっぱりリハビリ出勤というのはかなり多い状況ですか。

金城主幹　　今現在は1名ですね。

神村委員長　　学校現場でも、そういうリハビリ出勤をすすめる過程があるんですけれども、その事案が大変気になって、復職できるようにサポートしてあげたいなと思っています。ほかにございませんか。よろしいですか。では、ほかにご質問がありませんので、報告1「平成29年度教育委員会組織及び定員について」はこの辺で終了いたします。以上を持ちまして、平成28年度第14回教育委員会会議(定例会)を終了いたします。